

**情報通信審議会情報通信技術分科会
CISPR 委員会 H グループ会議（第 11 回）議事要旨（案）**

- 1 開催日時：平成 22 年 8 月 17 日（火） 10 時 00 分～11 時 30 分
- 2 開催場所：総務省 1 階 共用会議室 3
- 3 出席者（順不同）

【委員】徳田主任（東京都市大学名誉教授）、松本幹事（NICT）、両宮委員（NTT-AT）、長部委員（VCCI）、久保委員（NHK）、篠塚委員（NICT）、垂沢委員（NTT ドコモ）、野村委員（TELEC）、山中委員（NICT）

【事務局】浦賀、加賀谷、郷藤（総務省）、三塚・田上（TELEC）

4 議事概要

- (1) 事務局から配付資料の確認が行われた。
- (2) 徳田主任より委員の交代について報告があった。
 - ・ 本田委員（NHK）から久保委員（NHK）へ交代
 - ・ 篠塚委員の所属変更に伴い、野村委員（TELEC）が新たに委員として参加
続いて、新任の委員から挨拶があった。
- (3) 資料 H11-1 前回議事録案について、特に異議なく承認された。
- (4) 資料 H11-2 CISPR シアトル会議 SC/H 対処方針（案）について松本幹事から説明あり、以下の議論の後、承認された。
 - ・ 8 項 30MHz 以下の放射妨害波に対する許容値については、大型プラズマディスプレイ装置を対象として検討したが、各 NC への意見照会の結果 SC-H としては何も対処しないことになった。現在の CISPR 干渉モデル（30MHz 以上の放射妨害波決定法）を、30MHz 以下でも適用できるという結論である。
 - ・ SC/I ではタスクフォースで 30MHz 以下の放射妨害波と電源線の伝導妨害波に相関があるのか継続検討中である。
 - ・ 30MHz 以上においては、既に設定されている許容値を適用する。
 - ・ 30MHz 以下の何を保護するのか、その保護レベルをどう設定するかも検討が必要。
 - ・ 30MHz 以下の測定が必要なら、測定サイトの評価方法を SC/A で検討することになる。
- (5) 資料 H11-3 CISPR シアトル会議 SC/H/WG1 対処方針（案）について松本幹事から説明があり、議事次第が未着のため暫定版であるとして、以下の議論の後、承認された。
 - ・ 共通エミッション規格の FDIS ドラフトに 1GHz 以下でアンテナ高さの走査が注記された。この注記の意図を確認する必要がある。
 - ・ 1GHz 超においても影響があるのかどうか、現在 SC/A においては 1GHz 超のアンテナ高

の走査の議論はストップしている。

- ・測定の不確かさとは、測定装置 (measurement instrumentation) の不確かさであり、試験報告書に記載は要求されるが、試験結果の適合判定には使用しない。
- ・複数の代替測定法があるとき、測定の不確かさの差異を考慮すべきではないか。

(6) 資料 H11-4 CISPR シアトル会議 SC/A&H/JTF 対処方針 (案) について松本幹事から説明があり、以下の議論の後、承認された。

- ・反射箱試験法の導入に向け、コムジェネを使った RRT を実施した結果が報告される。
- ・反射箱は、測定結果が電界強度では表されず合計放射電力で表され、OATS との相関がとれない。
- ・換算が当てはまるのか、また EUT と測定アンテナの指向性も問題である。何か条件付きで限定しないと無理では。
- ・対象とする EUT は電源ケーブルのない電池駆動のみなのかは不明。
- ・SC/I では、反射箱試験法とオープンサイトとの比較で平均値でも 10 数 dB、実測値では 30dB 程の差があり、代替試験法には採用しなかった。ただし CISPR32 では 1GHz 以上での使用を検討中。
- ・代替測定法では、不確かさ分だけ許容値を厳しく設定するという考え方も考慮する必要があるのでは。

(7) 資料 H11-5 CISPR シアトル会議参加者案が提示され、一部追加修正し承認された。

- ・総務省からは浦賀監視官が 10/11~10/14 まで参加される旨、事務局から報告された。

(8) 資料 H11-6-1 CIS/H/203/CD、資料 H11-6-2 CIS/H/203/CD 審議表について松本幹事から説明があり、以下の議論の後、承認された。

- ・本来はこのデータベースと CISPR16-4-4 に記載の干渉モデルを基に許容値の決定が可能となっている。
- ・生きた情報でなければ意味がないので、業界標準化団体に協力してもらえば良いのでは。
- ・現在、最近のデータが入力されていない、確認する必要があるが、ウェブサイトのアドレスが EMC ZONE としか記載がなく、詳細を確認し、内容を見てもみる必要がある。(その後 SC-H の国際幹事に状況を確認した結果、現状の CISPR31 に記載の例以外には入力がないとの回答があった)

(9) その他

- ・総務省事務局から次回 CISPR 委員会の予定 (9/2 総務省 8 階特別会議室 15:00 から) が報告された。
- ・2011 年の CISPR 総会は韓国 (10/3~10/14: 場所未定)、2012 年はノルウェイ予定
- ・次回 H 会合は未定。

以 上